

今週の News

1. 全国まちづくり会議 2022 の日程・概要
2. 地域主体のまちづくりフォーラムの開催案内
3. 第3回女性とまちづくり研究会の開催案内
4. 名誉会員の推薦
5. 訃報 鳥栖那智夫さん
6. 協会の持続的な組織運営に向けた改革の検討

■全国まちづくり会議 2022 の日程・概要

全国まちづくり会議 2022 の日程とプログラム概要は概ね下記の方角で内容を詰めています。日程、開催場所についてはほぼこの形で設定していきます。テーマや個別セッションについては、関係者・関係諸団体等と検討を行いつつ具体的な内容を詰めていく予定です。

また、全国まちづくり会議 2022 の企画運営に参加される方を募っています。希望者は次回3月8日の実行委員会（オンライン）に参加してください。

- ・日程：2022年10月8日・9日(予定)
- ・場所：千葉大学墨田キャンパス(東京都墨田区)
- ・開催方法：リアル会議形式+一部オンライン活用
- ・実施主体及び協力(案)
 - ・主催:認定NPO法人日本都市計画家協会
 - ・後援:千葉大学、UDC すみだ、向島学会、墨田区等
 - ・協賛:企業各社(今後募集予定)
- ・テーマ (案):
『まちづくりの起源を探る』
-まちづくりの百花店すみだで考えるこれまでとこれから-
早くから地域主体のまちづくりに取り組んできた墨田区を舞台に、まちづくりの起源を探るとともに、今後の展望として地元企業との連携、大学との連携、ベンチャーの育成など多様な主体が参加し、つながるまちづくりのあり方を探る大会とする。
墨田区を始め千葉大学、UDC すみだ、向島学会、ガレッジ墨田、東武鉄道、UR 及び墨田区まちづくりに係る多様な主体を招く。
- ・今後のスケジュール等
 - 2月:会場及びテーマ、日程等の確定
 - 3月:会場利用申請、企業寄付・協賛の打診開始
 - 4月:個別プログラム検討、関係団体調整
 - 6月:プログラム決定、公表、パネル展示募集開始
 - 8月:個別プログラム決定、パンフ作成・公表
- ・次回実行委員：3月8日20時～（オンライン）

■地域主体のまちづくりフォーラムの開催案内

- ・日時：2022年3月7日(月) 19:00～21:00
- ・開催方法：オンライン ZOOM、参加費：無料
- ・申込方法：JSURP 理事内山征までメールで
uchiyama@almec.co.jp
受付締切日：3月3日(木)12:00迄
- ・詳細：下記サイト参照
<https://www.jsurrp.jp/まちづくりフォーラム 20220307/>

■第3回女性とまちづくり研究会の開催案内

第3回女性とまちづくり研究会が以下のように開催されます。

- ・日時：3月8日(火)20時～21時半
- ・講師：石川幹子東大名誉教授
- ・参加費：無料
- ・形式：オンライン
- ・申込：下記 URL より

<https://forms.gle/EUcPZchfKZGxPBUs5>

今回はランドスケープアーキテクトの石川幹子東大名誉教授をお招きして「大地の声に耳を澄まし、心を繋いでいく喜び」をテーマとし、野の花、風のそよぎ、季節のうつろいの中で、多くの皆さんと心をあわせ、心豊かなまちを創っていく喜びを共有したく存じます。事例として中国震災復興、東日本大震災復興、ブータンロイヤルパーク、日本橋坂本町公園再生(明治15年のコレラから132年の軌跡)などを取り上げます。

講演後の懇談は、事前に皆さまからの質問をメールでいただきたいと思っております。是非ご参加ください。

■名誉会員の推薦

第197理事会において、協会の設立等に大きく貢献された司波寛さん(故人)、鳥栖那智夫さん(故人)、小澤一郎さん、伊丹勝さんの4名を名誉会員に推薦することになりました。

現名誉会員の渡部與四郎さん、新谷洋二さん、平野侃三さん、大熊喜昌さん、伊達美徳さん、鈴木崇英さん、林洋太郎さん、光多長温さん、小林郁雄さんの9名と合わせて13名となります。

■訃報 鳥栖那智夫さん(享年83歳)

当協会の創設に係り副会長などを歴任され、マスター都市プランナーでもある鳥栖那智夫さんがお亡くなりになりました。

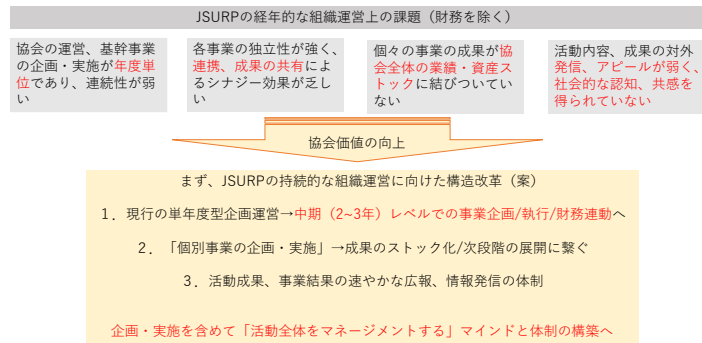
鳥栖那智夫さんは1938年生まれ、1968年東京大学数物系大学院博士課程満期終了(都市計画)。丹下健三都市・建築設計研究所を経て、1973年荒田氏等4名で日本都市総合研究所を設立し代表取締役を務められた。1990年代初頭に故南條氏、故楠本氏、小沢一郎氏等と伊藤滋先生によって日本の都市プランナーのあるべき姿について議論が交わされ、1993年の日本都市計画家協会の創設に結実しました。2020年12月のJSURP25周年記念事業講演・シンポジウム第2部「JSURPのこれまでと今後の展望」のパネリストとして「協会立ち上げの一人として思うこと」と題した思いを述べられており、これが当協会における鳥栖さんの最後のメッセージとなっています。ここに、生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

■協会の持続的な組織運営に向けた改革の検討

JSURP は来年 2023 年 4 月に創立 30 年を迎えます。協会の持続的な組織運営のために、体質・構造の改革を進めることが重要だと認識のもと、①協会の運営体制の改革、②協会のビジョン・ミッションの明確化、③会員制度の改善などを進めることとし、各々検討を進めています。

①協会の運営体制の改善

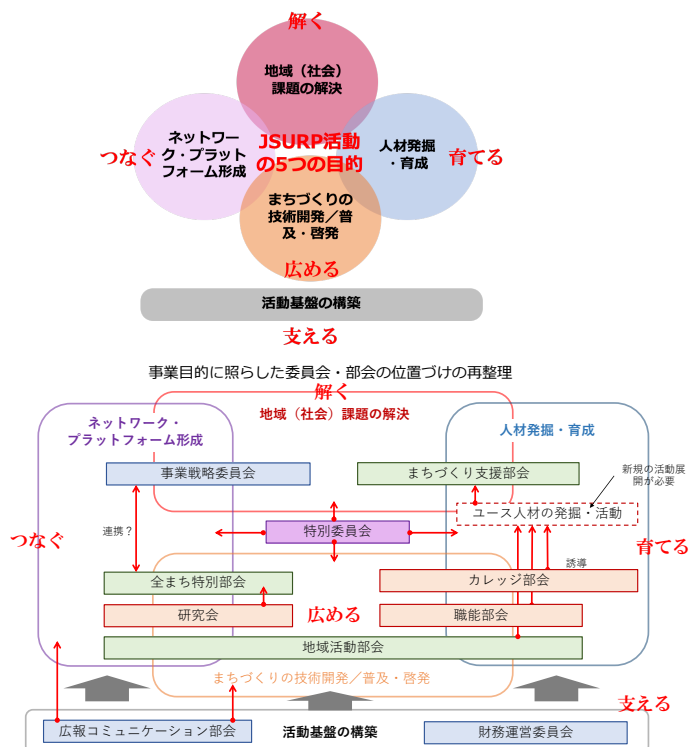
JSURP の経年的な組織運営上の課題（財務を除く）の検討を行い、協会の価値向上に向けて「持続的な組織運営に向けた構造改革（案）」を理事会で検討しました。



これに基づいて実効性・速効性のある組織体制の構築に向け①協会運営の基幹的事項担うヘッドクォーターとして現四役会議→運営会議に強化拡大と、②委員会・部会の役割の再確認と再編成を行います。

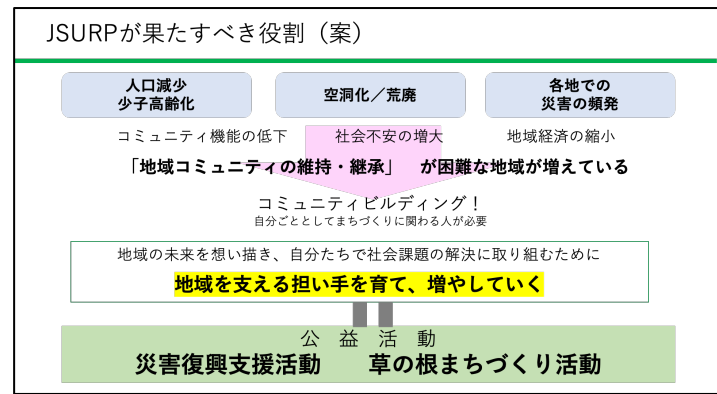
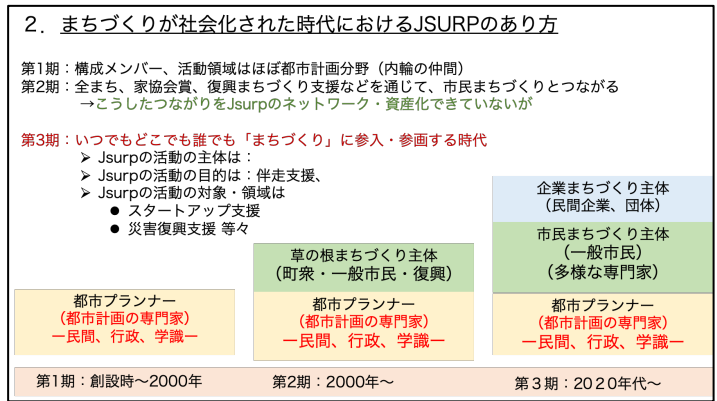
委員会・部会等の再編検討に先立って、各部長にアンケートを行いこの結果等を踏まえて目的を整理すると、JSURP の活動の目的として5つの軸がありそうです。

- 解く：地域課題の解決
- つなぐ：ネットワーク・プラットフォーム形成
- 育てる：人材発掘・育成
- 広める：まちづくりの技術開発・普及啓発
- 支える：活動基盤の構築



②JSURP ビジョン・ミッションの検討

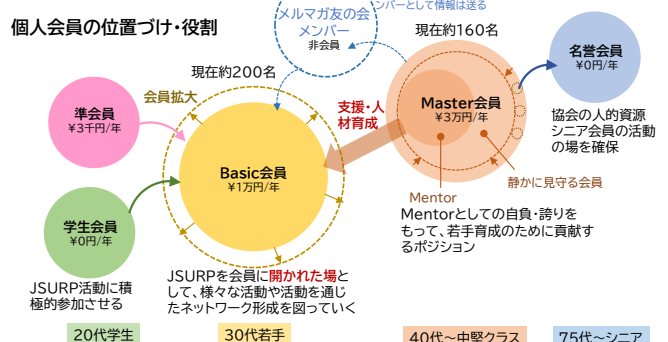
本協会の存在意義を明確にし、安定的な活動につなげていくため、協会内にビジョン検討ワーキングを立上げ、対外的に訴求力の高いビジョン・ミッションの策定に向けて検討しています。



②会員制度の改善に関する検討

JSURP の会員数は高齢化等による転格・退会や新規入会者数の減少などによって減少を続けており、協会活動上及び財政上の大きな課題となっています。また、正会員年会費（3万円）も新規入会の際の障害の一つと指摘されてきました。こうした課題を解決するため、会員制度の適切なあり方を検討しており、順次改善を図っていく予定です。

会員制度の見直しについて



■3月前半の予定

- ①3月7日（月）地域主体のまちづくりフォーラム
- ②3月8日（火）女性とまちづくり研究会
- ③3月11日（金）ビジョン検討委員会
- ④3月12日（土）静岡支部視察ツアー